

ヒラメを放流しました

5月21日、安下庄小学校5年生15名が安下庄湾へ、また5月23日、森野小学校全校児童25名が学校近くの海へヒラメの稚魚を放流しました。安下庄小学校は県漁協安下庄支店から手渡された、約5600匹を、森野小学校は県漁協東和町支店から手渡された、約3500匹を放流しました。

今回放流したヒラメの稚魚は約5センチで2、3年で約30センチ以上に育ちます。



▲森野小学校の放流の様子

大島で農業を始める方のために



▶周防大島みかんいきいき営農塾開講式であいさつする、椎木営農塾長

5月15日、みかん産地に新たな担い手を育成するために開催されている、「周防大島みかんいきいき営農塾」の開講式が相きつ新興センターで行われました。今年で12期生となる受講生は45名。毎月1回の講義で、みかん作りの基礎となる施肥、薬剤防除やせん定の方法などを1年間をかけて学びます。

また、5月22日には「JA生き活き帰農塾」も開講しました。今年で9期生となる受講生35名は、野菜づくりの基礎などを学びます。

▶安下庄小学校の放流の様子

中高一貫教育だよ切

久賀中学校、大島中学校、東和中学校、安下庄中学校の町内四中学校と、周防大島高校は地域連携型中高一貫教育を行っています。ここでは、その取組を紹介していきます。

●第1回中高一貫教育合同研修会

去る4月4日、新しいメンバーを加えて、連携中学校と高校の教員が周防大島高校安下庄校舎で一堂に会しました。

全体会では、高校の主任が中高一貫教育の立ち上げから現在までの経緯を説明しました。次に教科部会を行い、本年度の課題や目標などを協議し、教員間の連携を深めました。

その後、各分掌の専門部会も行われ、今年度の中高一貫教育がスタートしました。



▲合同研修会の様子

●中高一貫カウンセリング

高校生活への円滑な移行を目的として、連携中学校出身の高校一年次生を対象に、中高一貫カウンセリングを行っています。中学校の教員が高校に出向き、まだ高校生活に慣れない一年次生の不安や心配ごとを聞き、悩みを解消するなど、学校生活をサポートしています。



●交流授業が始まりました!

国語・数学・英語・音楽・体育の五教科において、交流授業が始まりました。

中学校から高校へ、高校から中学校へそれぞれの教員が出向き、協力して授業をしています。個別の質問に丁寧に答えるなど生徒一人ひとりにきめ細かい指導が行われています。



■問い合わせ 事務局

周防大島高等学校
0820(77) 1048